

## [研究ノート]

# 鎮守の森、史跡等の植生（1）

— 駒形神社及び稲荷神社（野田市木間ヶ瀬地区） —

岩 槻 秀 明

## はじめに

鎮守の森（社寺林）や史跡は、歴史的・民俗学的に価値があるだけでなく、古くから良好な自然環境が維持されていることが多いため、「多様な生物が生息する空間」として重要な役割も担っている。

割と新しい場所では、都市公園と同様の樹種が植栽されていることも多く、それぞれの樹齢も比較的若い傾向にある。また、面積的に狭いような場所もある。しかし、そのような場所でも、時間の経過とともに生物相が次第に豊かになり、思いがけない希少種の生息空間となっていることもあるため侮れない。

そこで、千葉県立関宿城博物館周辺地域を中心に、社寺林や史跡の植生や生物相を調べ、実態を明らかにし、自然環境の見地からその価値を見直していきたい。

## 今回の調査場所

今回は、第1弾として、駒形神社及び稲荷神社（野田市木間ヶ瀬）を調査対象とした（図-1）。調査地は野田市立木間ヶ瀬小学校に近く、周辺環境は西側がゆるやかな斜面林と畑地、北側・東側・南側が平坦な水田地帯となっている。

南側は舗装された2車線道路に接して、神社の周りを囲むように砂利道が走っており、1周できるようになっている。

調査地の南側に駒形神社、北側に稲荷神社があり、その中間に地域の集会所がある。

## 調査期間及び調査方法

今回の調査場所は、かねてより頻りに現地を訪れており、既に写真を中心とした記録データが相当量蓄積しているところである。

そこで、2006年1月1日から2014年11月1日までの間に現地で撮影した写真をもとに、植物種をリストアップする作業を行った。その際、撮影対象とは別に写りこんでいたもので、明確に同定できる種についても併せてリストアップした。

また、2014年11月28日と12月15日に調査場所を訪れ、リストアップした植物種に記録漏れや誤りがないかのチェックを行い、さらに、本稿執筆のために必要な現地情報の補完を行った。

本来は、全種類の標本を作成した上で記録することが望ましいが、植生保護の観点から、写真による記録を原則とした。

ただし、ごく普通に見られるありふれた種で、誤同定の可能性がないものに限って、目視による種名のみを記録も行っている。

また、学術的に重要と思われるものや、同定の難しい分類群については、植生に影響を与えない範囲で採取し、標本を作成した。

昆虫や小動物等については、その性格上、全種の記録が難しいものの、可能な範囲で写真による記録を行った。

## 調査結果

### 1. 植生の傾向

#### A. 社寺林の構成樹種

駒形神社及び稲荷神社には、植栽由来と考えられる樹種が多い。

駒形神社では、樹冠を構成するものとして、シラカシ、エノキ、ソメイヨシノ、ヒノキ、シュロ、アケボノスギ（メタセコイヤ）、ヒマラヤスギなどが見られる。ヒマラヤスギが確認できたのは1本のみだが、最も背の高い樹木となっている（写真-1）。

稲荷神社では、境内周辺にクヌギ、イロハモミジ、アケボノスギなど、稲荷神社の北側はヒノキ林が広がっている（写真-2）。

近年は、社寺林東側の水路に面した草地にソメイヨシノと思われるサクラ類が1列に植栽されている。

また、全体的に野鳥が運んだと思われる実生苗が多く、雑種は近隣の雑木林の構成種や、庭木とだいたい一致する。

#### B. 社寺林の林床

駒形神社・稲荷神社・集会所の境内は、ほとんど下草が生えておらず、踏み固められた湿った土が露出している。コケ類が中心で、他にツメクサ、アワゴケ、チドメグサなど、このような環境を好む植物が生えている。

稲荷神社北側のヒノキ林は、林床にナガバジャノヒゲやジャノヒゲが密生している。林床の植生は比較的豊かで、ホウチャクソウ、ナキリスゲ、ヤブコウジなど、里山の植物も見られる。

#### C. 林縁の環境

社寺林の林縁は、もともと植生が豊かな場所で、確認できた植物種の大半が林縁に見られる。ナンテンハギ、ウラシマソウ、タイアザミなど、かつての里山の植物も豊富である。だが、コセンダングサ、ハルジオンなど、外来種の侵入も顕著である。

#### D. 水路

社寺林の東側には、自然護岸の水路があり、マコモやカサスゲ、クサヨシなどが群生している。樹林とそれに接続する水路は、マイコアカネ、ホソミオツネトンボ、オオアオイトトンボなどのトンボ類の生育環境となっている。

### 2. 植物種の確認状況

2006年1月1日から2014年12月15日までの集計で、維管束植物（種子植物及びシダ植物）が207種確認できた。内訳は、シダ植物3種、種子植物204種（裸子植物6種、被子植物198種）である。

また、外来種及び植栽などの人為的導入種が207種中65種で、帰化率（全体の種数における外来種数の割合）が31.4%だった。

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下、外来生物法）」によって規制対象となっている「特定外来生物」は1種（アレチウリ）、法的規制はないものの生態系への悪影響が懸念される「要注意外来生物」は9種だった。

また、希少種関連で、環境省の第4次レッドリスト掲載種は0種、千葉県レッドリスト2009年改訂版掲載種は1種（重要保護1種：ヤブスゲ）であった。

参考資料として、今回の調査で確認した植物種の全種目録を別表（54ページ参照）にまとめた。

### 3. 植物の注目種

#### A. ヤブスゲ

カヤツリグサ科の多年草。国内では本州と四国に分布し、平地～低山地の山林などで生育する。千葉県レッドリスト2009で、B（重要保護生物）に指定されている。

調査地では、2008年6月に稲荷神社のヒノキ林周辺に生えているのを確認した。以降、年によって消長があるものの、毎年継続的に確認できている。また、周辺の斜面林沿いにも所々に見られる。

本種は大変地味な植物であるため、存在に気づかず、雑草同様に扱われがちである。また、近縁種としてマスクサがあり、よく似ているため誤認されている。ただ、自生環境さえ良好に維持されれば、本種に対する特別な保護は必要ないと考える。

#### B. アワゴケ (写真-3)

オオバコ科 (旧分類ではアワゴケ科) の1年草。全国に分布し、庭園や社寺など、薄暗く湿った土の上に生える。

今回の調査地では、稲荷神社や駒形神社境内の薄暗く湿った土の上に、各種のコケ類に混じって多数生えているのを確認した。

地味で微細なため見過ごされやすいが、自然環境が良好で歴史のある社寺林を特徴づける種である。

#### C. ナガバジャノヒゲ

キジカクシ科 (旧分類ではユリ科) の常緑多年草。国内では本州・四国・九州に分布し、公園や神社、雑木林などの薄暗い場所でごく普通に見られる。

駒形神社入口や稲荷神社北側の樹林内に密生しており、おそらく斜面の土止めとして植栽されたものと推測される。植栽年代は不明だが、本種による土止め活用事例として大変興味深い。

#### D. サカキ

サカキ科 (旧分類ではツバキ科) の常緑小高木。国内では本州 (関東以西)・四国・九州・沖縄に自生している。また、神事に利用される樹種であるため、社寺林にしばしば植栽される。サカキの自生しない地域では、近縁のヒサカキが代用される。

野田市周辺では、雑木林内にヒサカキが多く自生しているものの、サカキはほとんど見かけない。

今回の調査では、稲荷神社の境内にサカキが数本植栽されていた。植栽株は開花・結実を確認できた。また、稲荷神社内には、ヒサカキも1本植栽されていた。

ヒサカキは調査地内に実生苗が多く、おそらく野生株由来と植栽由来の両方が混在

しているものと考えられる。

#### E. ミカヅキゼニゴケ (写真-4)

ミカヅキゼニゴケ科に分類される多年生のコケ植物。地中海沿岸地域原産。ゼニゴケに似ているが、無性芽器が三日月の形をしている (ゼニゴケの無性芽器は円形)。今回の調査においてコケ植物はほぼ手つかず状態で、植物リストの対象から外したが、本種はコケ植物としては珍しい外来種で、同定も容易なのでここに載せておく。野田市内でも散在的に見られるが、現時点ではかなり稀なものである。

今回、駒形神社境内の薄暗くジメジメした場所の土の上に、かなり広範囲に見られた。侵入経路や年代は不明である。

### 4. 今後の要検討種

今回の植物リストに取り上げたツクシヤブマオとオカウコギの2種は、特徴を基に、この名前で整理した。しかし、同定がきわめて難しい分類群であるため、今後さらに継続観察・知見の収集を行いながら検討する必要がある。

また、稲荷神社でグミ科グミ属の実生苗を見つけたが、幼木であったため種の特定には至らなかった。一時的なもので消滅してしまう可能性が高いものの、無事に成長できた場合はきちんと同定したい。

### 5. 昆虫・小動物等の注目種

今回の調査において、昆虫・小動物は情報不足から、リストを作成するまでには至らなかった。それでも、注目すべき種をいくつか確認したので、以下に列挙する。

#### A. ミズイロオナガシジミ (写真-5)

シジミチョウ科のチョウで、雑木林に生息する。幼虫の食樹はコナラ、クヌギなどである。成虫は年1回、6月~7月頃に出現する。かつては普通種だったらしいが、雑木林の減少に伴い急速に数を減らしている。

2009年6月2日、稲荷神社にて1匹確認したが、その後は消息不明である。

## B. ジャコウアゲハ

アゲハチョウ科のチョウ類で、幼虫はウマノスズクサを食草とする。稲荷神社の樹林内には、食草となるウマノスズクサが生えており、本種を見かける。石碑に蛹が張り付いている姿もよく見かける。

## C. コカブトムシ (写真-6)

コガネムシ科カブトムシ亜科の甲虫で、広葉樹林内に生息する。千葉県レッドリスト2011で、D(一般保護生物)に指定されている。駒形神社内では、数こそ少ないものの、毎年継続的に確認できている。

## D. ヤマトモンシデムシ (写真-7)

シデムシ科の甲虫。動物の死骸などに依存した生活を送っているため、鳥類や哺乳類などを含めた良好な生態系が維持されていないと消滅してしまう。環境省レッドリスト2012でNT(準絶滅危惧)、千葉県レッドリストでB(重要保護生物)に指定されている。

2012年7月9日夜間、駒形神社で1匹確認した。

## E. ヒバカリ (写真-8)

無毒のヘビ類で、水田周辺に生息している。千葉県レッドリストで、D(一般保護生物)に指定されている。2012年9月28日に稲荷神社境内で1匹確認した。種の特性から遭遇頻度が低いだけで、近隣にも普通に生息しているものと思われる。その他、撮影できていないもののヤマカガシを何度か確認している。

## まとめと今後の課題

今回、調査結果を取りまとめた駒形神社及び稲荷神社は、それほど面積が広くない場所であるにも関わらず、非常に豊かな生物相となっていることが改めて確認できた。

自然環境の観点からも、貴重な「地域の財産」となっていると言える。

駒形神社及び稲荷神社については、本稿

執筆後も、継続して植生調査を行っていきたいと思う。

課題としては、シダ類やコケ類は調査不足、昆虫や小動物についてもリスト化できるほどの情報が集まっていないことなどが挙げられる。

また、今後は、近隣の鎮守の森や史跡等について植生や生物層の調査を随時行っていきたい。

## 主な参考・引用文献

千葉県史料研究財団編『千葉県植物誌(県史シリーズ51.千葉県の自然誌別編4)』千葉県 2003年

千葉県環境生活部自然保護課『千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-植物・菌類編 2009年改訂版』千葉県 2009年

千葉県環境生活部自然保護課『千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-動物編 2011年改訂版』千葉県 2011年

岩槻秀明『野田市木間ヶ瀬地区のシロバナホトケノザ 千葉県植物誌資料-21』2006年

環境省ホームページ内

外来生物法-特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律-

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

(いわつき ひであき 当館展示協力員)



図-1 調査地周辺の概略図（筆者作成）  
 ※およその位置関係を示したもので、精密なものではない。



写真-1 駒形神社の様子  
 最も背の高い樹冠がヒマラヤスギである。



写真-2 稲荷神社の様子  
 社寺林の構成樹種は大半がヒノキである。



写真-3 アワゴケ

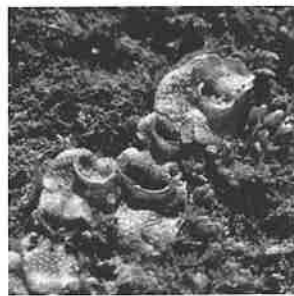


写真-4  
 ミカヅキゼニゴケ



写真-5  
 ミズイロオナガシジミ



写真-6 コカブトムシ



写真-7  
 ヤマトモンシデムシ



写真-8 ヒバカリ

【別表】駒形神社及び稲荷神社（野田市木間ヶ瀬）で確認した植物目録

科名	No	和名	学名	外来	メモ	指定状況		
						国 RL	県 RL	外来 生物法
トクサ科	1	スギナ	<i>Equisetum arvense</i> L.					
ゼンマイ科	2	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.					
コウヤワラビ科	3	コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.					
イチョウ科	4	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i> L.	○				
マツ科	5	ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i> (Roxb.) G.Don	○				
イチイ科	6	カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Siebold et Zucc.	○				
ヒノキ科	7	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	○				
	8	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D.Don	○				
	9	アケボノスギ	<i>Metasequoia glyptostroboides</i> Hu et W.C.Cheng	○				
ドクダミ科	10	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.					
ウマノスズクサ科	11	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.					
クスノキ科	12	シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.					
	13	グツケイジュ	<i>Laurus nobilis</i> L.	○				
サトイモ科	14	ウラシマソウ	<i>Arisaema urashima</i> H.Hara					
	15	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.					
	16	ムラサキハング	<i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb. f. <i>atropurpurea</i> (Makino) Ohwi		カラスビシャクの仏炎苞が紫色の品種			
ヤマノイモ科	17	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino					
	18	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.					
シオデ科	19	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L.					
	20	シオデ	<i>Smilax riparia</i> A.DC.					
イヌサフラン科	21	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i> D.Don ex Schult. et Schult.f.					
アヤメ科	22	ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i> E.P.Bicknell	○				
ワスレグサ科	23	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>kwanso</i> Regel					
ヒガンバナ科	24	キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i> Maxim. var. <i>sanguinea</i>					
	25	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb.	○				
	26	ニシキヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb. f. <i>bicolor</i> N.Yonez.	○	ヒガンバナの品種で、 花卉に白い縁取り			
	27	シロバナ マンジュシャゲ	<i>Lycoris</i> × <i>albiflora</i> Koidz.	○	ヒガンバナ×シヨウキズ イセン			
	28	タマスダレ	<i>Zephyranthes candida</i> (Lindl.) Herb.	○				
ネギ科	29	ノビル	<i>Allium macrostemon</i> Bunge					
	30	ハナニラ	<i>Ipheion uniflorum</i> (Graham) Raf.	○				
キジカクシ科	31	ヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey					
	32	ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl.					
	33	ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.					
	34	アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi					
ヤシ科	35	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i> H.Wendl.	○				
	36	トウジュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i> Becc.	○				
カヤツリグサ科	37	エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.					
	38	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i> Boott					
	39	コジュズスゲ	<i>Carex parciflora</i> Boott var. <i>macroglossa</i> (Franch. et Sav.) Ohwi					
	40	ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don var. <i>lenta</i>					
	41	マスクサ	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.					
	42	ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i> Franch. et Sav.					B
	43	ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i> Boott					
イネ科	44	アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev					
	45	カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada					
	46	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i> Vahl	○				
	47	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler					
	48	トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i> Steud.					
	49	チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch.					

	50	ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>undulatifolius</i> f. <i>undulatifolius</i>					
	51	ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.					
	52	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	○				
	53	チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.					
	54	クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i> L.					
	55	ヨシ	<i>Phragmites communis</i> Trin.					
	56	アズマネザサ	<i>Pleiblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino					
	57	メダケ	<i>Pleiblastus simonii</i> (Carrière) Nakai					
	58	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L.					
	59	アオスズメノカタビラ	<i>Poa annua</i> L. subsp. <i>Annua</i>	○				
	60	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.					
	61	ムラサキ アキノエノコロ	<i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.			アキノエノコログサの剛毛に紫がかかるもの		
	62	マコモ	<i>Zizania latifolia</i> (Griseb.) Turcz. ex Stapf					
ツユクサ科	63	ツユクサ	<i>Commelina communis</i> L.					
アケビ科	64	アケビ	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.					
キンボウゲ科	65	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i> DC.					
	66	ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.					
ケシ科	67	ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.					
タデ科	68	ソバ	<i>Fagopyrum esculentum</i> Moench	○		一時的な帰化		
	69	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i> (Brujin) Kitag.					
	70	ハルタデ	<i>Persicaria vulgaris</i> auct. non Webb et Moq.					
	71	ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> L. subsp. <i>Aviculare</i>					
	72	スイバ	<i>Rumex acetosa</i> L.					
	73	アレチギシギシ	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray	○				
	74	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i> L.	○				
ナデシコ科	75	オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	○				
	76	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.					
	77	コハコベ	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	○				
	78	ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi					
ヒユ科	79	ヒナタイノコヅチ	<i>Achyranthes fauriei</i> H.Lév. et Vaniot					
	80	ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i> L.	○				
ベンケイソウ科	81	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino					
ブドウ科	82	ノブドウ	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv.					
	83	ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.					
	84	エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge					
フウロソウ科	85	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i> L.	○				
	86	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton					
アカバナ科	87	コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i> Hill	○				要注意
ニシキギ科	88	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>orbiculatus</i>					
	89	マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume					
スマレ科	90	タチツボスマレ	<i>Viola grypceras</i> A.Gray var. <i>grypceras</i>					
	91	ツボスマレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray					
	92	マルバスマレ	<i>Viola keiskei</i> Miq.					
トウダイグサ科	93	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i> L.					
	94	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i> (L.f.) Müll.Arg.					
カタバミ科	95	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.					
	96	タチカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>erecta</i> Makino					
	97	ウスアカカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L. f. <i>tropaeoloides</i> (Voss) R.Knuth					
マメ科	98	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) H.Obashi					
	99	ツルマメ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H.Obashi					
	100	クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi					
	101	カラスノエンドウ	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.					
	102	クサフジ	<i>Vicia cracca</i> L.					

	103	ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i> A.Braun					
	104	アズキ	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et H. Ohashi var. <i>angularis</i>	○	一時的な帰化			
	105	フジ	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.					
バラ科	106	シダレザクラ	<i>Cerasus</i> cv.	○				
	107	ソメイヨシノ	<i>Cerasus</i> x <i>yedoensis</i> (Matsum.) A.V. Vassil.	○				
	108	ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.	○				
	109	ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i> (Andrews) Th. Wolf					
	110	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.					
	111	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i> L.					
グミ科	112	グミ属の一種	<i>Elaeagnus</i> sp.		幼木で同定不能			
ニレ科	113	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino					
アサ科	114	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.					
	115	エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.					
	116	カナムグラ	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.					
クワ科	117	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai					
	118	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold					
	119	ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.					
イラクサ科	120	ツクシヤブマオ	<i>Boehmeria kiusiana</i> Satake		要再検討			
ウリ科	121	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino					
	122	スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y. Liu					
	123	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i> L.	○				特定
	124	カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.					
ブナ科	125	クヌギ	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.					
	126	コナラ	<i>Quercus serrata</i> Murray					
	127	シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume					
カバノキ科	128	イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.					
アブラナ科	129	カラシナ	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.	○				
	130	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.		オオナズナは区別せず			
	131	タネツケバナ	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.					
	132	ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i> L.	○				
	133	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i> L.	○				
アオイ科	134	アメリカキンゴジカ	<i>Sida spinosa</i> L.	○				
ムクロジ科	135	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	○	植栽と推定			
センダン科	136	センダン	<i>Melia azedarach</i> L.	○				
ミカン科	137	サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.					
アジサイ科	138	アジサイ	<i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb.) Ser. f. <i>macrophylla</i>	○	植栽、品種不明			
ツバキ科	139	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i> L.	○				
	140	チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	○				
サカキ科	141	サカキ	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	○	植栽			
	142	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		植栽と自生が混在			
サクラソウ科	143	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume					
	144	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims	○				
	145	コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.					
ツツジ科	146	ツツジの一種	<i>Rhododendron</i> sp.	○	園芸種だが未同定			
ムラサキ科	147	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce					
	148	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) F.B. Forbes et Hemsl.					
ガリア科	149	フイリアオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. 'Variegata'	○	アオキの斑入り品、 園芸逸出			
アカネ科	150	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Desp.					
	151	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i> L.					
	152	アカネ	<i>Rubia akane</i> Nakai					
ナス科	153	ホオズキ	<i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Mast.) Makino	○				
	154	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i> L.					
	155	オオイヌホオズキ	<i>Solanum nigrescens</i> M. Martens et Galeotti	○				
	156	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.					



ヒルガオ科	157	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	○				
モクセイ科	158	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.					
キツネノマゴ科	159	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>procumbens</i>					
シソ科	160	クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.					
	161	カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> L. var. <i>grandis</i> (A.Gray) Kudô					
	162	ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i> L.					
	163	シロバナホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i> L. f. <i>albiflorum</i> D.M.Moore		ホトケノザの白花品種			
	164	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i> L.	○				
アゼトウガラシ科	165	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>major</i> (Pursh) Pennell	○				
オオバコ科	166	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i> Engelm. ex Hegelm.					
	167	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L.					
	168	オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i> Poir.	○				
	169	タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i> L.	○				
ウコギ科	170	オカウコギ	<i>Acanthopanax japonicus</i> Franch. et Sav.		要再検討			
	171	ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.					
	172	キツタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean					
	173	チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.					
セリ科	174	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.					
	175	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.					
	176	ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydb.					
	177	オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.					
レンブクソウ科	178	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara					
スイカズラ科	179	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.					
キク科	180	ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i> Pamp.					
	181	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	○				要注意
	182	ヒレアザミ	<i>Carduus crispus</i> L.	○				
	183	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i> (L.) A.Braun et Asch.					
	184	イエギク	<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramat.	○	園芸ギク類の総称			
	185	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i> (Savi) Ten.	○				要注意
	186	タイアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Maxim.) Kitam.					
	187	オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i> Retz.	○				要注意
	188	ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	○				要注意
	189	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	○				要注意
	190	ウスベニチチコグサ	<i>Gnaphalium purpureum</i> L.	○				
	191	ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i> Lam.	○				
	192	キツネアザミ	<i>Hemisteptia lyrata</i> (Bunge) Fisch. et C.A.Mey.					
	193	オオジシバリ	<i>Ixeris debilis</i> (Thunb.) A.Gray					
	194	カントウヨメナ	<i>Kalimeris pseudoyomena</i> Kitam.					
	195	アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> L.					
	196	ヤブタバコ	<i>Lapsana humilis</i> (Thunb.) Makino					
	197	フキ	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.					
	198	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i> L.	○				
	199	コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i> (Makino) Makino					
200	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.	○				要注意	
201	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L.						
202	ウスジロノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i> L. f. <i>lilacina</i>		ノゲシの白花品種				
203	オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	○					
204	アイノゲシ	<i>Sonchus oleaceo-asper</i> Makino		ノゲシ×オニノゲシ				
205	外来タンポポ種群	<i>Taraxacum</i> spp.	○				要注意	
206	オオオナモミ	<i>Xanthium canadense</i> auct. non Mill.	○				要注意	
207	オニタバコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.						